

23-03-27

2023 年度 名古屋鉄道 設備投資計画

～安全で快適な鉄道サービスの提供と沿線地域の活性化を推進～

名古屋鉄道では、「名鉄グループ中期経営計画 Turn-Over 2023」（2021 年度～2023 年度）に基づき、2023 年度設備投資計画をまとめました。

2023 年度においては、鉄道事業における安全・安定輸送確保および駅・車両の快適性向上に向けた投資のほか、沿線地域活性化に資する取り組みへの戦略的な投資を継続して行います。

■ 設備投資計画の概要

事業	主な投資項目	金額
I. 鉄道事業	1 安全・安定輸送確保 ・高架化工事の実施 ・高架橋柱の耐震補強の実施 ・安全性向上および省力化に向けたシステムの導入拡大	134 億円
	2 駅・車両の快適性・利便性向上 ・通勤型車両 9500 系および 9100 系の新造 ・金山駅の大規模リニューアル ・新型券売機や新型チャージ機の導入	58 億円
	小計	192 億円
II. 開発事業	・東岡崎駅再開発計画の推進 ・布袋駅高架下開発の推進 ・μPLAT（ミュープラット）金山のリニューアル ・データセンターの建設	85 億円
III. その他	・沿線地域活性化および旅客サービス向上に資するシステム改善 ・業務効率化に向けた DX の推進	30 億円
	総合計	307 億円

(参考)名古屋鉄道を含む名鉄グループ設備投資計画の総額： 866 億円

I. 鉄道事業の主な項目

1. 安全・安定輸送確保

○ 安全対策推進と都市計画事業の一環として、4カ所で高架化工事を実施します。

	区間	距離	除却踏切数
知立駅付近 (名古屋本線・三河線)	一ツ木駅～牛田駅間	1.6km	2箇所
	重原駅～三河八橋駅間	3.4km	8箇所
喜多山駅付近 (瀬戸線)	小幡駅～大森・金城学院前駅間	1.9km	8箇所
若林駅付近 (三河線)	三河八橋駅～竹村駅間	2.2km	4箇所
荏安賀駅付近 (尾西線)	二子駅～名鉄一宮駅間	1.8km	3箇所

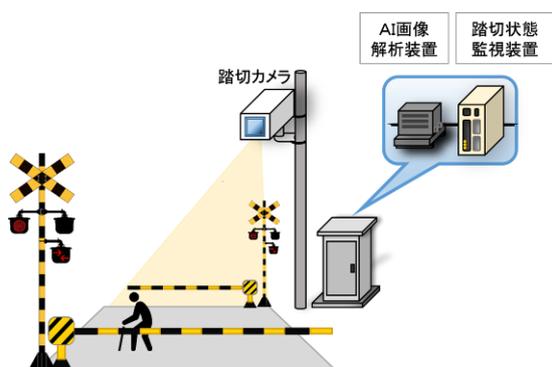


高架化後の知立駅付近の上り線



喜多山駅付近の高架化工事

- 大規模地震による被害を最小限に抑えるため、高架橋柱の耐震補強を実施します。
- 踏切障害物検知装置の更新や踏切監視システム導入踏切の拡大に加えて、AI画像解析装置を導入することにより、踏切道の保安度向上を図ります。



AI画像解析装置を導入した踏切監視システム(イメージ)



AI画像解析装置により物体を検知している様子(イメージ)

2. 駅・車両の快適性・利便性向上

- 通勤型車両 9500 系・9100 系を計 18 両新造します。9500 系・9100 系は車内の安全や環境に配慮しており、走行時に使用する電力量は更新対象となる従来の通勤型車両の 5 割程度です。
※9500 系（4 両組成）3 編成、9100 系（2 両組成）3 編成
- 金山駅大規模リニューアルを引き続き実施し、利便性やサービス向上を図ります。
【鉄道関連（中央改札口）】
 - ・ 中部国際空港駅の到着予定時刻や特別車の空席情報などを表示する専用の案内表示器を設置し、中部国際空港（セントレア）への拠点駅として機能強化を図ります。
 - ・ ウォークインタイプの改札を新たに設けるなど、係員によるきめ細やかな対応を行う環境を整備します。
- 【商業エリア】
 - ・ 改札内商業エリアを含む μPLAT 金山の 1・2 階商業エリア店舗のリニューアルに加え、西改札口に新たな商業区画を展開し、駅利用者の利便性がより高まる施設を目指します。



金山駅中央改札口付近（イメージ図）

のりば Track	種別 Type	発車時刻 Dep. Time	到着予定時刻 Arr. Time	両数 Cars	特別車 First Class	一般車 Ordinary
4	エクスプレス 特急 4591 1st Exp./1st Class Car	9:54 → 10:18		8両 8 Cars	△ 残席わずか slightly	なし Not Available
3	特急 1st Exp. (Some First Class Car)	10:05 → 10:36		6両 6 Cars	× 空席なし Full	あり Ordinary Car Available
3	準急 Semi Exp.	10:19 → 11:03	おどけ 約5分 Delay 5 min	4両 4 Cars	— なし Not Available	あり Ordinary Car Available
4	エクスプレス 特急 4591 1st Exp./1st Class Car	10:24 → 10:48		4両 4 Cars	○ 空席あり Vacant	なし Not Available

空港行き専用の案内表示器（イメージ図）

- 金山駅へのホームドア導入に向けた実証試験の準備を進めます。
- 運転見合わせ等の列車運行情報等を駅の専用ディスプレイに表示する「エムビジョン」の導入を進めます。
- 継続定期券発売・クレジット決済対応可能な新型券売機や、精算機能を追加した新型チャージ機の導入を進め、利便性向上とより効率的な駅運営を目指します。



エムビジョン（イメージ）



新型券売機



新型チャージ機

II. 開発事業の主な項目

○ 東岡崎駅再開発計画の推進

東岡崎駅再開発計画の開発コンセプト「SWING HIGAOKA」を基に、先行して駅南口に三河地区で初となるミュープラットシリーズ「μPLAT 東岡崎」を展開します。

再開発計画のコンセプトを踏まえ、駅など立地環境に受け込みながらもリズム感のある躍動的なデザインを採用し、2023年度竣工、2024年春開業を予定しています。



【参考情報】

- ・延床面積: 約 3,000 ㎡
(1,000 ㎡/1フロア×3層)
- ・店舗面積: 約 1,900 ㎡
- ・予定店舗数: 15 店舗

○ 布袋駅における高架下開発

布袋駅において、高架下の空間に物販やサービス等の木造商業施設を展開します。同駅の旧駅舎が当社最古の木造駅舎だったことを踏まえ、当時の駅舎のモチーフやデザインを用いながらもモダンな空間とし、木造施設とすることで環境にも優しく、長く親しまれる施設を目指します。

2023年度竣工、2024年春開業を予定しています。



【参考情報】

- ・延床面積: 約 1,100 ㎡
- ・店舗面積: 約 1,100 ㎡
- ・予定店舗数: 10 店舗

○ 神宮前駅周辺において、「データセンター」の2024年春開業に向けて建設を進めます。

Ⅲ. その他の項目

- エリア版 MaaS の推進に向け、「CentX」をさらにおでかけに便利なアプリとすべく、事業者や自治体との連携拡大および機能強化を図ります。



■ 運賃改定の検討

- テレワークなど新常态の定着により、輸送需要はコロナ前水準に戻らないものと見込みであることに加え、電力料金や資材価格の高騰による経費増加の懸念もあり、厳しい状況は今後も継続すると予想されます。
- これからも事業を継続し、永く社会に貢献し続けるため、安全・安心・安定輸送の確保に必要な設備更新に加え、社会環境の変化に合わせた投資が必要不可欠となります。
- 構造改革による経費の削減等に継続して取り組むものの、不足する費用の一部について、お客さまにご負担をお願いするため、運賃改定の申請に向けて準備を進めます。

改定時期	2024 年春頃
改定内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全体の改定率は平均 10%程度を想定 ・ 初乗り運賃は 10 円値上げを想定 (170 円→180 円) ・ 家計負担を考慮し、通学定期券は運賃据置

以 上